



# 伊勢市中心市街地活性化基本計画(第3期)

計画期間: 令和8年4月～令和13年3月

【自治体の概要】 人口: 115,938人(うち中心市街地区域: 6,550人)(令和7年10月末時点) 面積: 208.37km<sup>2</sup>(うち中心市街地区域: 1.53km<sup>2</sup>)

- ・伊勢市の中心市街地は、伊勢志摩国立公園の玄関口として、また、古くから「お伊勢さん」「日本人の心のふるさと」として親しまれている神宮の御鎮座のまちとして栄えた。
- ・外宮の鳥居前町である山田のまちとして、地域特有の歴史と、文化が発達しており、令和15年の第63回神宮式年遷宮に向けた取り組みが重要。

## 目指す中心市街地の都市像

働きやすく、暮らしやすい、歴史と文化を感じる伊勢のまち

### 中心市街地の課題

#### 商業の衰退及び回遊性の不足について

- ・区域内店舗数が減少傾向にあり、空き店舗増加や区域全体の魅力の低下が懸念
- ・伊勢市駅・伊勢神宮外宮から各商店街への人の流れを作ることが課題

※歩行者通行量(7地点合計)  
H30: 3,943人 → R6: 3,543人(▲10.1%)  
※新規出店数  
H27～R1: 50店舗 → R3～R6: 41店舗(▲18%)  
【目標達成状況】C: 基準値(H30)(H27～R1)に及ばない

#### 人口減少及び空家問題について

- ・若年層の市外流出や少子高齢化等により居住人口が減少
- ・適切に管理がされていない空家の増加による周辺生活環境への悪影響が課題

※社会増減数  
H27～R1: ▲177人 → R3～R6: ▲78人(55.9%増加)  
【目標達成状況】B: 基準値(H27～R1)より改善

#### 滞在型の観光について

- ・中心市街地での観光による回遊性や賑わいが不足
- ・宿泊により観光客の滞在時間を延伸することが課題

※観光関連施設等の利用者数  
H27～R1(平均): 49,337人 → R6: 46,913人(▲4.9%)  
【目標達成状況】C: 基準値(H27～R1)に及ばない

### 中心市街地活性化の方針と目標・目標指標

#### 魅力的な商店街づくりと、回遊性のあるまちづくり

目標指標①: 31事業(うち国支援22事業) 目標指標②: 14事業(うち国支援8事業)

外宮参道、各商店街等において、まちなかウォークアブル推進事業により、居心地がよく歩きたくなるまちなかを創出し、伊勢市駅・外宮周辺から各商店街への人の流れをつくり、中心市街地全体へ賑わいを広げていく。

##### 目標 商業の活性化とまちなか回遊性の向上

###### ⇒目標指標① 歩行者通行量(4商店街)

【基準値】5,705人(R6年度)→【目標値】8,186人(R12年度) [推計値7,850人]

###### ⇒目標指標② 営業店舗等の増減数(区域内・4商店街)

区域内:【基準値】▲63店舗(R2～R6年度)→【目標値】▲44店舗(R8～R12年度) [推計値▲75店舗]

4商店街:【基準値】▲13店舗(R2～R6年度)→【目標値】▲3店舗(R8～R12年度) [推計値▲15店舗]

##### 主な事業 まちなかウォークアブル推進事業、各商店街活性化事業



まちなかウォークアブル社会実験

#### 歩いて生活しやすく、安全に暮らせるまちづくり

全14事業(うち国支援11事業)

空家対策事業による空家の利用促進や、木造住宅耐震補強等事業による木造住宅の居住安全性を確保することで、移住、定住を促進する。

##### 目標 都市機能の強化と活発な地域活動によるまちなか居住の推進

###### ⇒目標指標 社会増減数

【基準値】▲152人(R2～R6年度)→【目標値】▲72人(R8～R12年度) [推計値▲90人]

##### 主な事業 空家対策事業、木造住宅耐震補強等事業



伊勢市空家バンク

#### 式年遷宮を契機とした誘客の推進と「おもてなしの心」によるまちづくり

全19事業(うち国支援13事業)

中心市街地の賑わい創出のため、式年遷宮をキーワードとした夜間イベントの定期開催や情報発信に取り組む。加えて、花火大会等と連動した宿泊プランを造成し、滞在時間の延伸を図る。

##### 目標 観光の取組による中心市街地の賑わい向上

###### 目標指標⇒宿泊者数

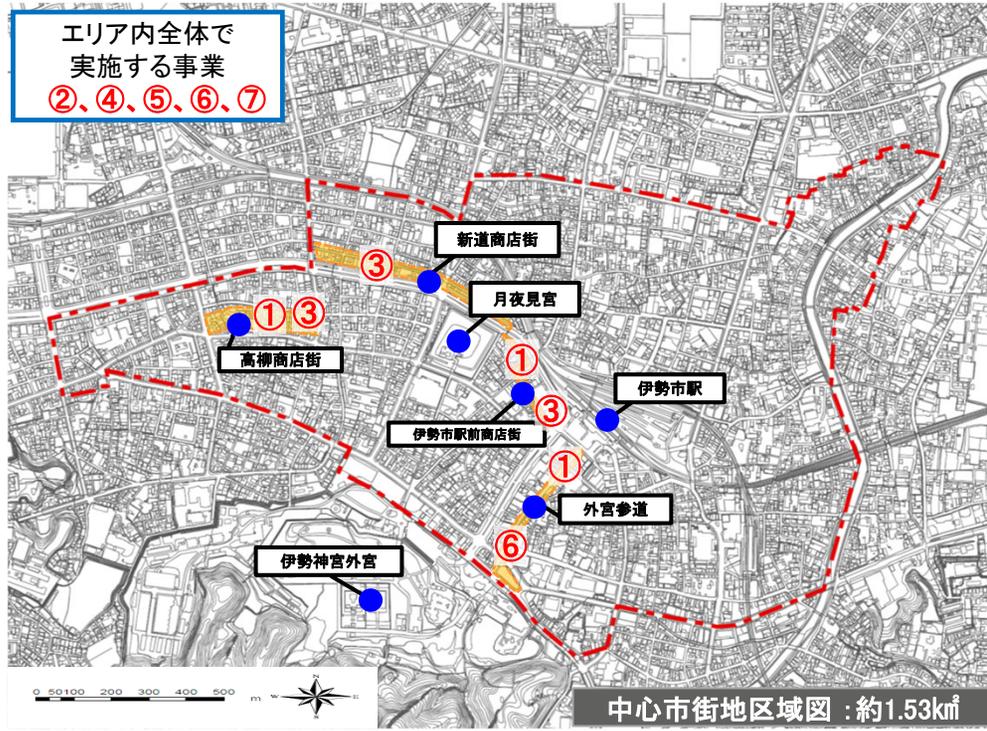
【基準値】425,382人(R6年度)→【目標値】497,000人(R12年度) [推計値473,334人]

##### 主な事業 御遷宮誘客宣伝事業、伊勢神宮奉納全国花火大会



御遷宮誘客宣伝事業(外宮参道のライトアップ)

**目標達成に資する主な事業**



エリア内全体で  
実施する事業  
②、④、⑤、⑥、⑦

**商業の活性化とまちなか回遊性の向上**

**①まちなかウォーカブル推進事業**

外宮参道・各商店街等において、道路脇の滞在空間の整備や公園再整備等により、「居心地が良く歩きたくなる」空間を創出し、伊勢市駅・外宮周辺からの人の流れを作る。  
【社会資本整備総合交付金(まちなかウォーカブル推進)(国交省)】



まちなかウォーカブル社会実験

**②創業支援事業**

創業や事業所の移転に必要な経費の一部を補助することで、新規出店を促進する。  
【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



創業支援活用事例

**③伊勢市駅前商店街活性化事業、しんみち未来創造事業、繋ぐ高柳希望の風事業**

月夜見宮に近い商店街において、店舗の情報発信や夜店等のイベントを開催することにより、月夜見宮参拝者を周辺商店街へ誘導し、歩行者通行量の増加を促進する。



繋ぐ高柳希望の風事業

**都市機能の強化と活発な地域活動によるまちなか居住の促進**

**④空家対策事業**

空家バンクの運営、また空家の改修費用及び購入費用の一部を補助することで、空家の利活用及び中心市街地への移住を促進する。  
【社会資本整備総合交付金(まちなかウォーカブル推進)(国交省)】



伊勢市空家バンク

**⑤木造住宅耐震補強等事業**

旧耐震基準の木造住宅について、耐震診断で「倒壊の可能性が高い」と判定された住宅が耐震補強工事を行う場合に、その費用の一部を補助することで、安全で快適に暮らすことができる住環境を整備する。  
【防災・安全交付金(住宅・建築物安全ストック形成事業)(国交省)】



活用事例

**観光の取組による中心市街地のにぎわい向上**

**⑥御遷宮誘客宣伝事業**

宿泊促進及び滞在時間の延伸を図るため、夜間早朝の魅力発信を行い、さらに外宮前広場等で式年遷宮をキーワードとした夜間イベントを定期開催することにより、夜間の魅力を向上させる。  
【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



御遷宮誘客宣伝事業  
(外宮参道のライトアップ)

**⑦伊勢神宮奉納全国花火大会の活用**

民間事業者と連携し、花火大会と連動した宿泊プランを造成することで、伊勢市への来訪者の滞在時間の延伸を図る。  
【中心市街地活性化ソフト事業(総務省)】



宿泊バックプラン